

修士論文（要旨）
2020年1月

移動を繰り返す日系ペルー人青年のアイデンティティ形成

指導 阿部 温子 教授

国際学研究科
国際協力専攻
218J1055

ITO MOLOCHE ALVARO TADAAKI

Master's Thesis(Abstract)
January 2020

Identity Building of Nikkei Peruvian Youths who Cross Borders

ITO MOLOCHE ALVARO TADAAKI
218J1055
Master's Program in International Cooperation
Graduate School of International Studies
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Atsuko Abe

目次

はじめに	1
第1章 理論的枠組み	2
(1) アイデンティティ概念について	2
(2) 人の移動について	4
(3) 政策と制度について	4
第2章 日秘間の移動・移民の歴史	6
(1) ペルーにおける在留・日系社会のコミュニティ形成 (1899-1945)	6
(2) 日本人であることを否定する不安定な時代 (1946-1955)	9
(3) 始まる安定期時代 (1956-1989)	11
(4) 祖先の国へ移動する時代 (1990-2008)	13
(5) 「日系アイデンティティ」強化の時代 (2009-2020)	14
第3章 「日系人」の経験の軌跡	16
(1) 日系人とは	16
(2) 世代の多様性	17
(3) 日系人の来日経験	18
(4) 日系ペルー人と沖縄	19
第4章 日本へ行き来する日系ペルー人のアイデンティティ	20
(1) 調査概要	20
(2) 分析	25
第5章 結論	48
参考文献	
参考資料	

はじめに

昨年 2019 年は日本人移民が南米ペルーに渡ってから 120 周年を迎え、現地の日系社会では多くのイベントが開催されるなど盛大に祝福された。海外日系人協会の調査報告によると現在ペルーには約 10 万人¹ の日系人がいる。そして、在日ペルー人の数は 2019 年 6 月では約 4 万 8 千人² であり、日秘間の人の行き来は日系人の移動の中で継続的に続いているものである。

ペルー生まれの日系人も第 4、5 世代が誕生し、ペルー現地の社会に溶け込んで生活を送っている。日系人は様々な貢献を通じてペルーの社会に大きな影響を与えている。その中でも特に世を騒がせたのはアルベルト・フジモリの日系人初の大統領就任であろう。フジモリは両親が熊本県出身で日系 2 世にして大統領に選ばれ、ペルーだけでなく日本でも注目を浴びた。他にも、詩人のホセ・ワタナベは父が岡山県出身、母が(非日系の)ペルー出身の日系 2 世で、数々の作品を世に残している。日系 3 世では、フジモリ元大統領の長女のケイコ・フジモリが父の跡を継いで政治的活動を継続していて、同じく 3 世のアルベルト・シロマは現在ディアマンテスという音楽グループに所属し、沖縄を拠点に音楽活動を行っている。このように、ペルー生まれの日系人もペルーおよび日本等で活躍の場を広げてきている。

そのような中、日本の移民政策・制度の下でペルーと日本を行き来する者がいる。彼らは幼い時に両親の出稼ぎ等で来日し、その後ペルーへ帰国。そして、県人会の文化継承事業、奨学金制度、JICA の研修制度などで再来日を繰り返している。本研究ではそのような「移動を繰り返す日系ペルー人青年」に着目し、彼らが移動を繰り返すことで自分のアイデンティティにどのような影響を受けているのか、探究する。筆者もこのグループに含まれていることが本研究の出発点である。

先行研究を見渡すと、日系人に関する研究は 1990 年代の出稼ぎブーム以降、社会学、文化人類学、経済学の視点から蓄積とされてきている。また 2008 年からはリーマンショックの影響で帰国支援政策などを受け帰国する日系人、また移民 2 世の教育面に注目する研究も多々発表されてきている。そして、日系人のアイデンティティに関する問いかけ等も幾度となくされてきている。しかし、今回研究対象とするのは日本とペルーを複数回に亘って行き来している日系ペルー人青年であり、日系人の中でも今回の対象者に焦点を合わせたアイデンティティに関する研究は見られない。ここに本研究の独自性は認められよう。

ここで語句の使い方を明らかにしておきたい。「日系人」「ペルー人」、さらには「沖縄(人)」といったエスニシティやナショナリティを示すカテゴリーに自己同一化するにあたり、どのようなカテゴリーを認識し自らをその一員と考えるかを、本研究における「アイデンティティ形成」と考える。また、1 回の移動ではなく、繰り返し行われる日本・ペルー間の移動の経験が、上記「アイデンティティ形成」

¹ 海外日系人協会、「日系人について知ろう」、URL: <http://www.jadesas.or.jp/aboutnikkei/index.html> (最終アクセス日: 2019 年 12 月)

² 法務省、『在留外国人統計』、(2019 年 6 月) URL: <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00250012&tstat=000001018034&cyc=1&year=20190&month=12040606&tclass1=000001060399> (最終アクセス日: 2019 年 12 月 20 日)

にどのような影響を与えているのか、「日系ペルー人」に関して実証的な研究がまだない中で、本研究は移民研究に寄与するものと考ええる。

本論文は以下のように構成される。第 1 章の「理論的枠組み」ではアイデンティティ概念、人の移動に関する概念、そして政策・制度について考察し、日系ペルー人の現状と照らし合わせていく。

第 2 章では日秘間の移動の歴史を時代区別に概観する。第 1 段階は日本からペルーへの移民政策が行われた時期、および日系 2 世が誕生し、在留コミュニティが形成された時期(1899-1945 年)、第 2 段階は第二次大戦から 2 世の社会編入が見られる時期(1946-1955 年)、第 3 段階は日系という概念が広まり、ペルーから日系人が来日するようになった時期(1956-1989 年)、第 4 段階は入管法改正で日系人の日本への移動が拡大した時期(1990-2008 年)、第 5 段階は留学制度や文化継承事業等が拡大し、それによって日系青年が日本へ移動するようになった時期(2009-2020 年)とする。

第 3 章では研究対象となる「日系人」について、その定義から検討し、ペルーの日系社会内の日系人の世代の状況、日系人の来日経験としてペルー人集住都市における現状を整理し、最後にペルーの日系社会の特徴とも捉えられる沖縄の重要性について考察していく。

第 4 章では、日本へ繰り返し移動する日系ペルー人青年(20 歳から 35 歳)30 人を対象にしたインタビュー調査をまとめ、データを分析していく。最後の章ではインタビュー調査を通して得た分析結果を総括し本研究の結論へと繋げていく。

参考文献

邦文

- ・有末 賢、『生活史宣言—ライフヒストリーの社会学』、慶應義塾大学出版会、2012年
- ・伊藤 力、呉屋 勇、『在ペルー邦人 75年の歩み』、ペルー新報、1974年
- ・北川 由紀彦、丹野 清人、『移動と定住の社会学』、放送大学教育振興会、2016年
- ・アーネスト・ゲルナー、加藤 節（監訳）、『民族とナショナリズム』、岩波書店、2000年
- ・コハツ・ホセ、「日本で成長し大人になった若者たち」 田巻 松雄、スエヨシ・アナ、『越境するペルー人—外国人労働者、日本で成長した若者、「帰国」した子どもたち』、下野新聞社、2014年
- ・サスキア・サッセン、伊藤 茂訳、『領土・権威・諸権利—グローバリゼーション・スタディーズの現在』明石書店、2011年
- ・塩川 伸明、『民族とネーション：ナショナリズムという難問』、岩波書店、2008年
- ・海外移住資料館だより 2018 March、Japanese Overseas Migration Museum News No.49、発行元：JICA 横浜 海外移住資料館
- ・杉村美紀、「ヒトの国際移動と「グローバル・シティズンシップ」（特集 異文化間教育学とグローバル・シティズンシップ）」、『異文化間教育』(42)、2015年
- ・アントニー・スミス、一條 都子（翻訳）、『選ばれた民—ナショナル・アイデンティティ、宗教、歴史』、青木書店、2007年
- ・田口 富久治、『政治理論・政策科学・制度論』、有斐閣、2001年
- ・丹野 清人、『「外国人の人権」の社会学』、吉田書店、2018年
- ・吉富 志津代、「日系南米人コミュニティ形成に関する一考察—ひょうごラテンコミュニティの事例から—」、『スペイン語世界のことばと文化 III』京都外国語大学スペイン語学科 創設 50周年記念論文集、2013年
- ・福田 友子、「在日ペルー人移民コミュニティの特徴—統計資料の検討を通して—」、千葉大学大学院人文社会科学研究所研究プロジェクト報告書、2015年

・村井 忠政(編著)、『トランスナショナル・アイデンティティと多文化共生-グローバル時代の日系人』、明石書店、2007年

・ロジャース・ブルーベイカー(著)、佐藤 成基、高橋 誠一、岩城 邦義、吉田 公記(編訳)、『グローバル化する世界と「帰属の政治」-移民・シティズンシップ・国民国家』、明石書店、2016年

・増田 義郎、柳田 利夫(著)、『ペルー：太平洋とアンデスの国：近代史と日系社会』、中央公論新社、1999年

・宮島 美花、「移動を説明する諸理論と中国朝鮮族の移動・生活」、2015年、『香川大学経済論叢』
第87巻第3・4号

・安田 寛二、春原 紗智、南木 美智奈、野間 令子、松本 恭子、坂本 正、「ムンド・デアレグリア学校での日本語教育実習」 牛田 千鶴、『南米につながる子どもたちと教育』、行路社、2014年

・柳田 利夫、「在日ペルー人の生活戦略—在日ブラジル人との比較を通じて」、三田 千代子 編、『グローバル化の中で生きるとは～日系人ブラジル人のトランスナショナルな暮らし』、上智大学出版、2011年

欧文

・Bauböck, Rainer. *Towards a Political Theory of Migrant Transnationalism*. Austrian Academy of Sciences, Vienna, 2003

・Hollifield, James F., Philip L. Martin, and Pia M. Orrenius, eds. *Controlling Immigration - A Global Perspective*, Third Edition, 2014

・Morimoto, Amelia. *Los japoneses y sus descendientes en el Perú*. Fondo Editorial del Congreso del Perú, Lima, 1999

・Putnam, Robert. "Diplomacy and domestic politics: The logic of the two level games", *International Organization* 42 (3), 1988

・Takenaka, Ayumi. "Ethnic Hierarchy and Its Impact on Ethnic Identities: A comparative Analysis of Peruvian and Brazilian Return Migrants in Japan" Tsuda, Takeyuki, ed. *Diasporic Homecomings – Ethnic Return Migration in Comparative Perspective*, Stanford University Press, 2009

インターネット文献

・IOM、『2018年版世界移住報告書(World Migration Report 2017)』、URL:
<http://japan.iom.int/pressrelease/details47.html> (最終アクセス日: 2019年6月30日)

・海外日系人協会、「日系人について知ろう」、URL:
<http://www.jadesas.or.jp/aboutnikkei/index.html> (最終アクセス日: 2019年12月20日)

・家系図政策会社 Gajumo、URL: <http://www.gajumo.com/namerunking> (最終アクセス日: 2019年12月11日)

・在ペルー日本大使館、URL:
https://www.pe.emb-japan.go.jp/itpr_es/00_000261.html (最終アクセス日: 2019年12月20日)

・JICA、2019年度「日系社会次世代育成研修(中学生招へいプログラム)」応募要項、URL:
https://www.jica.go.jp/mexico/espanol/activities/c8h0vm0000b0ftu1-att/nikkeikenshuin_sec_01.pdf (最終アクセス日: 2019年6月30日)

・JICA、「日系社会次世代育成研修(大学生招へいプログラム)」、URL:
https://www.jica.go.jp/peru/office/activities/nikkei/next_generation.html (最終アクセス日: 2019年7月1日)

・法務省、『在留外国人統計』、(2019年6月)URL:
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00250012&tstat=000001018034&cycle=1&year=20190&month=12040606&tclass1=000001060399> (最終アクセス日: 2019年12月20日)